

今年度国保料多くの自治体値上げ～据え置きは寝屋川市・大東市・和泉市、値下げは千早赤阪村「新型コロナのもとで医療分一万円下げた」

現在大阪社保協では大阪府市町村アンケート入力作業中です。国保アンケートについてはすでに 35 自治体市町村から回答が寄せられています。

今年度保険料と昨年度保険料の比較板ランを作成しました。アンケートでは世帯所得 0 円、50 万円、100 万円、150 万円、200 万円、300 万円で計算してもらっていますが、ここではもっとも多い所得層である 100 万円・150 万円・200 万円について比較しています。

大阪府統一保険料が一番高く、統一保険料に合わせている自治体は、現時点では池田市・柏原市・松原市・藤井寺市・高石市・岸和田市・貝塚市・熊取町・阪南市となっています。

一方、千早赤坂村は値下げとなっています。担当課に問い合わせたところ「新型コロナの中で、医療分が 1 万円下がるように保険料をふかした」とのことです。そしてまだアンケートは届いていませんが、八尾市も値下げとの情報です。据え置きは寝屋川市・大東市・和泉市となっています。

モデルケースごと国保料 2019 年度-2020 年度(医療分+支援金分+介護分)

大阪社保協調査 20200623 現在

- ① 現役 40 歳代夫婦と未成年の子供 2 人の 4 人世帯の国保料
- ② 65 歳以上 74 歳以下年金生活者高齢者夫婦のみ世帯
- ③ 40 歳母と未成年の子ども 2 人のシンママ世帯

		所得 100 万			所得 150 万			所得 200 万		
		①	②	③	③	②	④	①	②	③
大阪府 統一保険料	2019	210,635	171,139	181,587	350,578	251,363	304,102	419,778	307,663	408,845
	2020	220,785	179,783	190,234	367,368	263,764	318,486	439,368	322,464	427,988
1 大阪市	2019	185,058	152,630	164,282	309,301	226,700	276,060	376,701	280,700	373,051
	2020	190,580	156,165	167,593	318,114	231,254	281,336	385,414	285,454	379,607
2 豊中市	2019	141,833	99,098	137,805	269,241	201,861	253,756	367,465	273,744	358,024
	2020	162,297	82,003	150,560	292,827	174,073	276,126	381,509	262,072	371,680
3 池田市	2019	211,655	107,720	182,608	337,790	251,883	306,621	426,797	312,683	413,865
	2020	215,325	137,765	185,456	358,689	231,987	310,899	430,989	314,472	418,633

21	柏原市	2019	209,905	134,679	180,935	349,366	226,474	303,013	418,316	306,355	407,383
		2020	216,235	175,319	186,200	359,803	232,569	311,747	430,353	314,472	418,965
22	松原市	2019	214,259	139,139	185,342	387,008	234,286	310,740	429,408	317,553	418,475
		2020	219,118	141,278	189,109	364,856	237,706	316,842	437,656	321,828	426,269
23	羽曳野市	2019	151,760	32,790	135,360	216,060	32,790	199,660	280,360	103,040	263,960
		2020	204,690	163,990	175,950	340,610	240,610	294,640	407,460	294,160	396,050
24	藤井寺市	2019	210,630	135,250	181,583	350,575	227,437	304,099	419,775	307,663	408,845
		2020	216,491	138,842	186,477	360,219	233,406	312,198	430,819	315,603	419,552
25	大阪狭山市	2019	186,367	121,630	160,968	310,329	204,712	269,688	372,279	277,283	362,820
		2020	193,040	125,572	166,609	321,367	211,282	279,078	385,167	286,056	375,324
26	富田林市	2019	213,900	173,520	185,900	356,750	256,370	311,950	430,750	315,720	420,650
		2020	213,900	173,520	185,900	356,750	256,370	311,950	430,750	315,720	420,650
27	太子町	2019	185,540	120,430	160,710	309,160	202,710	269,450	371,860	274,630	362,840
		2020	191,440	124,330	166,490	319,290	209,390	279,370	385,490	283,880	376,690
28	河南町	2019	190,229	151,981	194,091	316,917	223,960	275,094	380,917	275,060	370,430
		2020	206,021	165,285	177,137	342,824	242,520	296,615	410,124	296,520	398,700
29	千早赤阪村	2019	169,960	104,620	145,930	283,090	175,990	244,630	339,940	238,240	339,390
		2020	155,960	92,680	133,230	259,780	155,930	223,420	312,030	211,090	300,970
30	河内長野市	2019	206,290	166,860	177,720	343,350	245,090	297,650	411,150	299,990	400,200
		2020	208,610	167,840	179,430	347,120	246,250	300,450	415,220	301,050	403,830
31	堺市	2019	186,868	120,776	163,336	312,450	203,922	274,800	381,150	277,524	372,017
		2020									
32	和泉市	2019	202,348	131,182	175,408	337,320	220,926	294,216	406,520	299,522	396,488
		2020	202,348	131,182	175,408	337,320	220,926	294,216	406,520	299,522	396,488
33	高石市	2019	210,630	135,250	181,583	350,575	227,437	304,099	419,775	307,663	408,845
		2020	220,781	179,782	190,231	367,366	263,764	318,485	439,366	322,464	427,988
34	泉大津市	2019	200,300	129,300	172,800	333,400	217,500	289,400	399,200	294,300	389,100
		2020	208,700	133,800	179,700	347,300	225,000	300,900	415,300	304,300	404,500
35	忠岡町	2019	206,800	167,400	178,200	344,300	245,900	298,400	412,400	301,100	401,400
		2020	213,600	172,700	183,700	355,500	253,500	307,900	425,200	310,000	413,800
36	岸和田市	2019	210,500	135,200	181,400	350,400	227,300	303,900	419,700	307,600	408,700
		2020	220,600	141,800	190,000	367,200	238,400	318,400	439,200	322,400	427,800
37	貝塚市	2019	210,630	171,130	181,570	350,570	251,350	304,080	419,770	307,650	408,830
		2020	220,770	141,850	190,220	367,350	238,470	318,470	439,340	322,460	427,980

38	泉佐野市	2019	210,500	135,200	181,400	350,400	227,300	303,900	419,700	307,600	408,700
		2020									
39	田尻町	2019	187,907	121,620	162,100	338,451	204,726	251,770	417,169	277,366	365,554
		2020	195,154	126,616	169,293	325,368	213,247	254,694	392,318	289,137	382,775
40	熊取町	2019	208,240	132,860	179,190	346,750	246,580	300,270	415,950	302,880	404,060
		2020	217,390	138,470	186,840	361,940	257,000	313,070	433,940	315,700	421,220
41	泉南市	2019	209,400	171,400	182,400	349,800	255,400	306,600	424,600	317,300	414,300
		2020									
42	阪南市	2019	210,630	171,120	181,570	350,560	251,350	304,080	419,760	307,650	408,830
		2020	220,770	179,770	190,220	367,350	263,760	318,470	439,350	322,460	427,980
43	岬町	2019	206,656	168,232	177,941	345,658	247,098	299,713	460,396	303,746	402,965
		2020									

大阪市国保料コロナ減免申請をしたシンママさん からのレポート～「区役所での窓口はとても親切 でした」

大阪市内各市町村から 2020 年度の国保料の決定通知・納付書が送付されています。

今回、厚生労働省は「新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険料(税)の減免に対する財政支援」を早くから打ち出しており、前年度所得から 3 割以上減る見込みのある被保険者に対して免除も含めた減免制度を実施すること、さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点から、申請者が直接窓口に来ていただかなくても済むよう、郵送やオンラインにより申請を受け付け、必要に応じ電話等で事実確認をする等の方法も検討するようとの指示をだしていました。大阪社保協としても 4 月 20 日付で大阪府名以前市町村に対して「新型コロナウイルス感染症の影響で保険料及び一部負担金が払えなくなった場合に対する対応についての緊急要望書」を提出し、その中で「新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対しての保険料減免を直ちに行えるように条例整備をするとともに、納付書発送時に周知し申請書も同封し、感染防止のため窓口に行かなくてもできるようにすること」と要望してきました。なお、この要望書に対する市町村からの回答書は、大阪社保協ホームページ「新型コロナウイルス感染症支援情報」のページにアップしています。

大阪市は納付書に申請用紙は入れなかったものの、ホームページから申請用紙をダウンロードし必要資料とともに郵送申請ができるようにしています。

大阪市ホームページ <https://www.city.osaka.lg.jp/fukushi/page/0000503428.html>

大阪市の新型コロナ国保料減免申請をしたシンママ大阪応援団のお二人のママさんから報告が来ましたので報告します。

★新型コロナで収入が1/3になったママさん

寺内さんから教えていただいた「新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険料(国保料)の減免」の申請に行ってきました。

子ども達が登校できなくなり、と同時に仕事に行くことができなくなりプラス自粛要請が出たためアルバイト生活をしている私は収入が激減。今回の国保料減免は、収入が前年に比べて3/10以上減少することが見込まれる世帯が対象ということですが、収入の3/10減少どころか収入が1/3ほどしかなくなったため国保料の請求書が届いた翌日にはホームページから申請用紙をダウンロードして、書類をそろえてすぐに申請に行きました。

できれば郵送での申請を、ということでしたができる限りの出費を抑えたく、仕事がないので時間はあるため区役所まで行きました(笑)混雑を予想して、時間に余裕のある時に行ったのですが、区役所は窓口を別途用意してくれていたの思った以上にスムーズに手続きが進み、時間も、区役所に着いて10分後くらいには出ることができ、少し拍子抜けしました。

申請用紙もダウンロードして記入していったので窓口の方が「どうでしたか?」「HPですぐに探せましたか?」「書き方もわかりにくくありませんでしたか?」など気を使って色々質問してくれました。丁寧に対応してくださったので私も「記入例もあってとても分かりやすくてよかったです。」と笑顔で答えることができました。

今回の新型コロナウイルス感染症で、自分だけでなく全ての人が初めて経験・対応することばかりで戸惑うことが多い中、役所で働く方たちも大変だな、と思いました。そんな中、迅速に対応してくださった役所の方に感謝します。また、今回の国保料減免をいち早く教えてくださった寺内さんにも感謝です。教えていただかなければそのまま見過ごしていたと思います。

★新型コロナで仕事を辞めざるを得なくなったママさん

3月末にコロナウイルスによる通勤困難で退職し、現在は失業給付を受けて生活しています。今月に入り、国民健康保険料の決定通知書が送られてきました。金額を見てびっくりしました。高いんですね。区役所に減免の手続きへ行きました。事前にホームページを見たりしたのですが、国民健康保険についてはよくわからず、電話をかけて必要書類を確認して直接窓口に行きました。

窓口はかなりの混雑で1時間近く待ちましたが、対応してくださった方はとても親切でした。失業給付だけでは生活できないので、週に何日かパートに行っていますが窓口の方は、失業給付を受けながらのパートだとそこまで収入がないから、現在は仕事していないということですから大丈夫ですよと教えてくれました。

色々説明して下さるのですが、国の減免制度やら、市の減免制度とややこしく、内容がよくわかりませんでした。私の場合は非自発的失業者として2年間国の制度が使えるとのこと、まずはその手続き。その制度で減額となった状態から市の制度の手続きに入りました。市の制度は1年間なので、来年6月の時点で会社の保険に入っていなければ再度手続きが必要だと言うことを教えてもらいました。最終的に三分の一の金額まで下がりホッとしました。その場ですぐに1年分の納付書を受け取りました。

ただ、国保は社保と違って家族数で金額が変わるので、子供の多いところは大変ですね。減額された金額は退職前の社保の金額と変わりません。社保は事業主負担があるということを知ってはいますが、収入が少ない人や、減額になった家庭ではかなりの負担になると思います。健康保険がないと病気や怪我の時に大変なことになるので必要なものとは思っているのですが。